

2024年度 とうきょうすくわくプログラム年間計画書

府中新町幼稚園

【テーマ】

- 野菜の栽培を通して育てる力(子どもたちの豊かな心の育ちや探究心など)を絵本や図鑑を利用し学ぶ

【上記テーマを設定した理由】

- 実際に 5 月から野菜を子どもたちと育てる中で、わからないことや不思議に思ったことなどを絵本や図鑑を通して見ることでイメージ化され、更に興味がわき、発見にも繋がった。今まで園で野菜を育てたことがなかったこともあり、栽培だけにとどまらず、その過程で自然(天候、虫など)や製作活動にも関連させ 1 年を通して野菜に興味を持ち、食育にも生かせると思ったためテーマとした。

【対象・期間】

- 年少組(3 歳児クラス)/44 名
- ゴールデンウィーク明けの野菜の苗植え後から、1年間を通じて。

【活動内容】

報告書第1号 夏野菜の苗植え・栽培 5月・6月

≪活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり≫

5 月にきゅうり・ナス・ピーマン・パプリカ・(赤・黄色)・枝豆の苗をプランターに植える。

植えるにあたり子どもたちに苗を見せて名前当てクイズなどを行い問い掛ける。

目を真ん丸にしながら葉っぱの形や花の色、少し生長している実を見て、何の野菜かを必死に考える子どもたち。

3歳、4歳の子どもたちでも一生懸命観察し、「木(茎)みたいなのが紫だから、ナスだよ！」「ここにきゅうりの赤ちゃんみたいなのがいますよ。」「早く大きくならないかな〜。」と一人ひとりが自分の思いを言葉にしていた。その言葉・つぶやきも拾うように心掛けた。

この先みんな水やりをしたり、生長を記録に残したりと野菜の栽培を通していろいろなことを体験し、多くのことを感じて欲しいと願った。

「お日様は野菜の生長にどんな影響を与えるのか？」「水をあげないとどうなるのか？」また、反対に「水をやり過ぎてしまうとどうなるのか？」「野菜はどんな生長をするのか？」「どんな花が咲くのか？」など。スーパーなどで売っている野菜しか知らない子どもたちである。「ぜひ家庭でも野菜について話してみたいかなでしょうか。」とホームページや保護者への連絡ツールを使い、栽培記録を発信した。

今回の活動を通して、子どもたちが野菜に興味を示し、自分たちで育てたことで愛着が湧き、苦手な野菜が好きになることができた嬉し！！もしかしたら・・・夏休みに野菜の栽培に挑戦する家庭が出てくるのではと良いきっかけ作りなればと期待しながら保護者に呼び掛けた。



野菜の図鑑を印刷し、ラミネートをすることで子どもたちは、実際に育てている野菜と照らし合わせながら考えたり、発見したり、教え合ったりする姿が見られた。

保護者にホームページ第1号「野菜の苗を植えました！」発信した。



植えてから1週間後・・・



- ☆「あっ、きゅうりが咲いてる♪」
(実がなっている。ではなく、咲いている
と言っているようです。)
- ☆「ここにも、ここにもきゅうりがある！
きゅうり屋さんができるね！」
(きゅうりや他の野菜もたくさん収穫で
できると嬉しいのですが！)

《振り返り》

苗植えの際にクイズなどを行うことで興味を示し、みんなで育てることへの関心を示していた。しかし、初の野菜栽培で苗の数を少なめにしていたため保育者が代表して植え、子どもたちは見学のみとなった。数人で1苗くらいでもいいので、実際の苗や土に触れ植える経験や楽しさなどを感じることが出来れば更に良かった。苗植えは五感を使える機会だったと思われる。また、他学年も興味を示し始め、年少組発信ではあるが、今後季節の野菜や草花などを育てたいという思いがわき始め、この思いを大切にしていきたい。